

2010年度版

環境報告書

(2010年4月~2011年3月のまとめ)

とちぎコープ生活協同組合

理念

CO-OP ともしはぐくむくらしと未来

私たちは、一人ひとりが手を取りあって、
一つひとつのくらしの願いを実現します。
私たちは、ものと心の豊かさが調和し、
安心してくらせるまちづくりに貢献します。
私たちは、人と自然が共生する社会と
平和な未来を追求します。

環境方針

北関東三生協（いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま）は、「環境に配慮したくらし」と「持続可能な循環型社会の実現」を目指して、コープネットグループの共通の理念とビジョンのもと、店舗・宅配における商品の供給及び取り扱う商品・サービスのあらゆる面で地球環境に配慮して行動します。

事業活動を通じ環境負荷を低減する仕組みをつくり、定期的な見直しと環境マネジメントシステムの継続的な改善によって、地球環境保全と汚染の予防につとめます。

また、環境保全に関する法規制および北関東三生協が受け入れを決めた事項を順守します。

1. 地球温暖化防止につながるCO₂削減に取り組みます。
2. 廃棄物の削減と再資源化をすすめます。
3. 組合員とともに環境活動に取り組みます。

2010年8月31日 制定
いばらきコープ生活協同組合
専務理事 鶴長 義二

とちぎコープ生活協同組合
専務理事 福田 雅彦

生活協同組合コープぐんま
専務理事 梅澤 義夫

2010年度とちぎコープ目的目標

(2010.4.14 決定、2010.5.6 修正)

【環境方針1】 とちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出の削減			
中期的な目的目標 ※京都議定書の第一約束期間に合わせて、2012年度までとしています。			
目的	年度	計画数値	主要な達成手段
とちぎコープの2012年度の二酸化炭素排出量を2002年度比1000トン削減します。(4089トンにします。)	2010年度	4180 t	
	2011年度	4132 t	
	2012年度	4089 t	
目標1	年度	計画数値	主要な達成手段
電気の使用による2012年度の二酸化炭素排出量を3003トンにします。	2010年度	3003 t	エネルギー設備管理標準の作成と運用 省エネ機器導入検討 運用管理強化
	2011年度	3003 t	運用管理 省エネ機器導入検討
	2012年度	3003 t	運用管理 省エネ機器追加導入
目標2	年度	計画数値	主要な達成手段
車両燃料使用による2012年度の二酸化炭素排出量を1013トンにします。	2010年度	1086 t	BDF車両導入拡大 エコドライブ推進 配送効率向上
	2011年度	1037 t	BDF車両導入拡大 エコドライブ推進 配送効率向上
	2012年度	1013 t	BDF車両導入拡大 エコドライブ推進 配送効率向上
2010年度目標			
目標	主要な達成手段	実施責任者	関連する部門目標
電気の使用による二酸化炭素排出量を3003トンにします。	エネルギー設備管理標準の作成と運用 省エネ機器導入検討 運用管理強化	環境管理責任者 各部門責任者	なし
車両燃料使用による二酸化炭素排出量を1086トンにします。	BDF車両導入拡大 (4台増加) エコドライブ ポイント間走行距離削減	コープデリ宅配 事業部長	・ポイント間走行距離前年比1%削減 ・配送トラック燃費前年比1%向上 (以上、コープデリ宅配事業部部門目標)

【環境方針2】 レジ袋の使用削減			
中期的な目的目標			
目的	年度	計画数値	主要な達成手段
2011年度に店舗利用者のレジ袋辞退率を90%にします。	2010年度	78.4%	SM3店舗で無料配布中止 レジイン買い上げに変更
	2011年度	90.0%	全店舗で無料配布中止 (栃木店で実施)
目標	年度	計画数値	主要な達成手段
2011年度にSM店舗利用者のレジ袋辞退率88.7%にします。	2010年度	74.8%	SM3店舗で無料配布中止 レジイン買い上げに変更
	2011年度	88.7%	全店舗で無料配布中止 (栃木店で実施)
2010年度目標			
目標	主要な達成手段	実施責任者	関連する部門目標
SM店のレジ袋削減率をSM74.8%（ミニ96.5%、全店舗78.4%）にします。	レジ袋プロジェクトの具体的計画による。 ○無料配付中止スケジュール 4月1日 おもちゃのまち店 5月1日 越戸店 6月1日 鶴田店	事業統括	全体目標をSM部門目標として設定。 ミニコープは90%超の削減実績があり、レジイン方式となっているため運用管理項目。

【環境方針3】 環境学習、啓発活動の拡大			
中期的な目的目標			
目的	年度	到達状況、及び、主要な達成手段	
環境に配慮したくらしのきっかけとなるように、様々な団体の情報や企画発信及び、とちぎコープの情報発信をします。	2010年度	外部団体の情報収集・情報掲載の仕組みを構築	
	2011年度	仕組みの仕上げと取り扱い情報量の拡大	
	2012年度	仕組みの定着と取り扱い情報量の拡大	
目標	年度	計画数値	主要な達成手段
環境に配慮したくらしのきっかけとなるように、よみかきコープ・機関紙・インターネットを使って、様々な団体の情報や企画を発信します。 2012年度までに、年間12回以上・20団体以上に発信します。	2010年度	年6回以上かつ10団体以上	外部団体の情報収集・情報掲載の仕組みを構築。
	2011年度	年10回以上かつ15団体以上	仕組みの仕上げと取り扱い情報量の拡大
	2012年度	年12回以上かつ20団体以上	仕組みの定着と取り扱い情報量の拡大
2010年度目標			
目標	主要な達成手段	実施責任者	関連する部門目標
よみかきコープ・機関紙・インターネットを使って、年間6回以上、10団体以上の企画や情報、及びとちぎコープの情報発信をします。	外部団体の情報収集・情報掲載の仕組みを構築します。	総合企画室統括	全体目標を総合企画室部門目標として設定

環境方針（1） とちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出の削減。

地球温暖化をはじめとする地球環境問題は、人類の生存に関わる問題とされています。とちぎコープは、日本生協連提唱の「温暖化防止自主行動計画」へ参加し、2009-2011年度の行動計画を作成し、事業活動に伴う二酸化炭素排出の削減に取り組みました。

とちぎコープの事業活動による二酸化炭素の排出は、電気使用由来による二酸化炭素の排出（約70%）と車両燃料由来の二酸化炭素の排出（約30%）とが、ほとんどを占める構成となっています。2010年度は、3項目を環境目標に設定して取り組みました。

2010年度の自主行動計画では、二酸化炭素排出は前年度比で0.3%削減、温暖化防止自主行動計画基準年となる2002年度比では16.2%の削減となりました。

【目的】2012年度のとちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出を2002年度比1000トン削減します。

【2010年度目標】とちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出を4180トン以下にします。

【個別目標1】電気使用由来の二酸化炭素排出を3003トンにします。

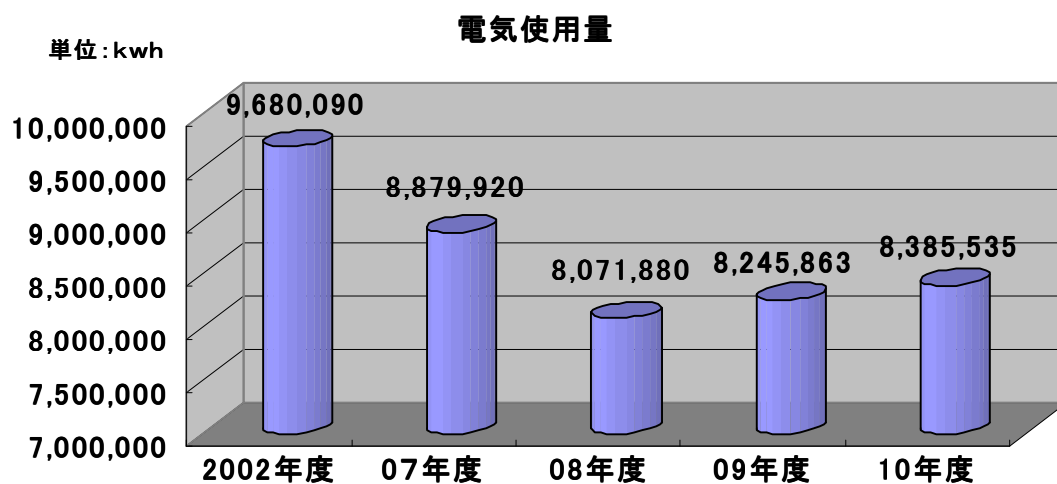
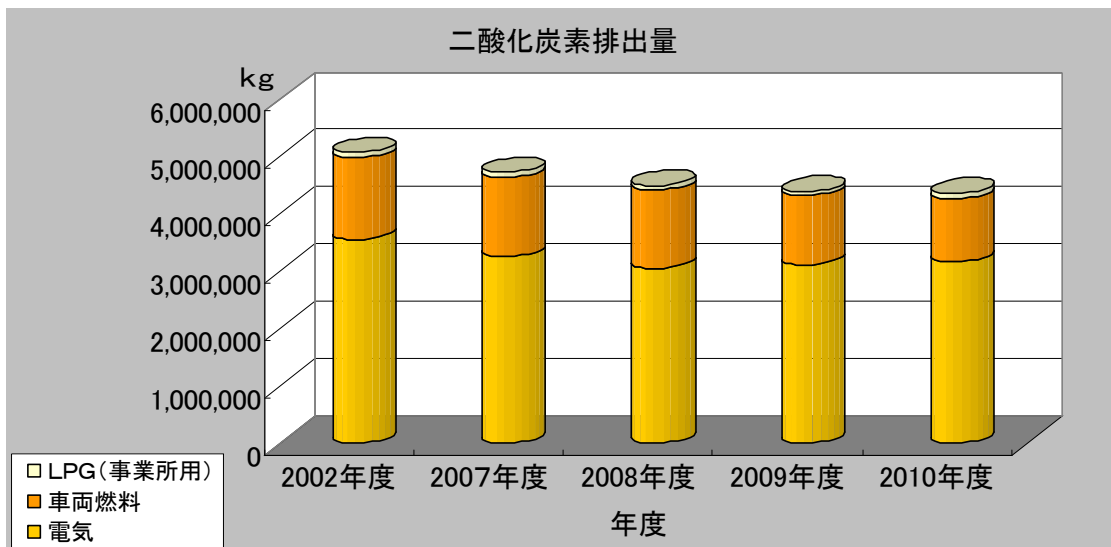
【個別目標2】車両燃料由来の二酸化炭素排出を1086トンにします。

	実績（トン）	計画（トン）	達成度	評価
全体	4,266.0	4,180.4	97.9%	×
電気	3,061.0	3,002.8	98.1%	×
車両燃料	1,095.0	1,085.9	99.2%	×
ガス	92.5	76.5	82.7%	×

主要な排出項目	2002年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
電気	3,552,641	3,247,091	3,051,611	3,116,936	3,169,732
車両燃料	1,420,069	1,396,317	1,359,331	1,195,246	1,095,476
LPG(事業所用)	101,213	82,526	83,548	74,666	92,510
合計	5,073,922	4,733,437	4,494,490	4,386,848	4,357,718

※2002年度LPGには、都市ガスを含みます。翌年度より都市ガスは使用していません。

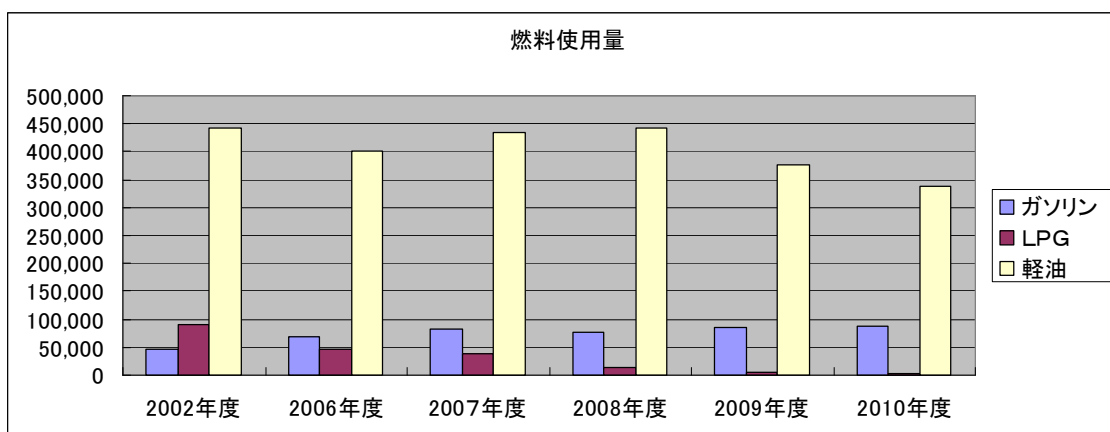
※2002年度の集計と整合性をとるため、電気使用量には一部独立したテナントを含みます。そのため、前出の表の2009年度実績と違ってしています。



2010年度の電氣使用量は、一昨年12月に新店オープンしSM4店舗が年間フル稼働となりましたが、前年並みの実績となっています。

自主行動計画との関係では店舗全体では、計画比101.7%（前年比101.4%）、SM計画比101.7%（前年比101.4%）、ミニコープ計画比101.6%（前年比101.6%）でした。

また、2011年度には、SM1店舗の改装を計画しており、冷ケースなどの省エネ対応の導入も検討をすすめています。



燃料種別	2002年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
ガソリン	46,442	69,406	82,404	76,763	84,118	88,909
LPG	89,522	46,178	37,130	13,339	6,623	2,530
軽油	442,738	401,828	435,427	441,564	376,271	337,186

(単位:L)

車両燃料の大部分は配送トラックで使用します。デリ宅配全体では、計画比 111.4% (前年比 100.3%) の実績で年間目標をオーバーしてしまいました。エコドライブの実践、配送コースの効率向上等で、車両燃料を効率よく使用するとともに、バイオディーゼル燃料の実験導入の範囲を拡大し、化石燃料に由来する二酸化炭素 (温暖化防止自主行動計画や省エネルギー法等に基づく集計範囲) の排出削減をすすめました。

バイオディーゼル燃料の導入は、2008年度に西那須野・宇都宮センターへの導入に続いて、2009年度に小山・壬生センターへの導入拡大を具体化し、2010年度は9台増やし全体で65台になりました。

【地球温暖化防止自主行動計画】

日本生協連の提唱する地球温暖化防止自主行動計画とは

2003年12月に日本生協連が全国の生協に、『供給商品1点あたり』の二酸化炭素 (CO₂) 排出量を、02年度比で、06年度に8%以上の削減を目指します」との目標で、2004～2006年度の計画を策定することを呼びかけました。

2007～2009年度の計画より、比較の単位を『供給商品1点あたり』から、『供給高一億円あたり』に変更し、到達目標も日本生協連全体としては、「2009年度は、『供給高一億円あたり』の二酸化炭素 (CO₂) 排出量を2002年度水準の維持」としました。2009年度からの計画では、総量削減の考え方も取り込みました。

とちぎコープの地球温暖化防止自主行動計画

とちぎコープの2012年度までの自主行動計画は、下記のとおりです。現在とちぎコープは、『供給高一億円あたり』の二酸化炭素（CO₂）排出量は2002年度水準を下まわっていますので、2008年度からは、二酸化炭素総排出量の削減を前面に出しての取り組みをすすめています。2012年度の到達目標として、二酸化炭素排出量4089トン以下とすることを目指しています。

とちぎコープの二酸化炭素排出量の推移

単位(トン)

年度	店舗		コープデリ宅配		全体	
	CO ₂ 排出量	2002 年度比	CO ₂ 排出量	2002 年度比	CO ₂ 排出量	2002 年度比
2002	3,004	100%	1,867	100%	5,074	100%
2006	2,734	91.0%	1,621	86.8%	4,565	90.0%
2007	2,767	92.1%	1,718	92.0%	4,726	93.1%
2008	2,571	85.6%	1,701	91.1%	4,494	88.6%
2009	2,518	83.8%	1,561	83.6%	4,278	84.3%
2010	2,560	85.2%	1,616	86.5%	4,266	84.0%
2011	2,454	81.7%	1,259	67.4%	4,118	81.1%
2012	2,513	83.6%	1,395	74.7%	4,089	80.6%

※ 2010年度までは、実績。2011～2012年度は計画。

環境方針（２） レジ袋の使用削減

【目的】 2011年度に店舗利用者のマイバッグ等持参率（レジ袋辞退率）を90%にします。

【2010年度目標】 SM店のマイバッグ等持参率をSM74.8%とします。

※（ミニ 96.5%（運用管理項目）、全店舗 78.4%）

SM店舗	実績 (%)	計画 (%)	達成度	評価
累計	68.87%	74.76%	92.1%	×
補足	当年度 (%)	前年度 (%)	前年度比	
SM	68.87%	40.24%	171.2%	○
ミニ	96.88%	96.44%	100.5%	○
店舗累計	73.42%	49.53%	148.2%	○

レジ袋の削減については、SM全体で約70%の削減となりました。ミニコープは、レジ袋を無料配布しておらず、削減率90%を超える状況が継続していますので、目標とはせず現状の仕組みで継続した取組みを進めることとしました。SMでの「レジ袋無料配布の中止」にむけた取組みについては、おもちゃのまち店・越戸店・鶴田店での有料化実施の確認を踏まえ、全店でのマイバスケットやマイバックの普及に向けた取組みをすすめました。

環境方針（３） 環境学習、啓発活動の拡大

【目的】 環境に配慮したくらしのきっかけとなるように、様々な団体の情報や企画発信及び、とちぎコープの情報発信をします。

【2010年度目標】 よみかきコープ・機関紙・インターネットを使って、年6回以上かつ10団体以上の情報や企画、とちぎコープの情報発信をします。

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
実績	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13

*機関誌おしゃべりかわら版では、「へえ～そうなんだ」のコーナーで、地球環境問題についての記事4回掲載しました。また、身近にできるエコ活動として、「1日エコライフレポート」をデリ宅配や店舗で配布し、3672名の参加がありました。ECO&テックとちぎでは、栃木県生協連として出展参加しました。

その他の主要パフォーマンス項目の進捗状況

**環境に配慮した商品の取り扱いの拡大、
情報提供の強化、ご利用の拡大を推進します。**

組合員のみなさんに、積極的に環境に配慮した商品を提供すること、及び、それらの商品や環境に関する情報を提供することなどを、とちぎコープの事業活動において、環境に有益な影響を及ぼす課題として取り組みをすすめました。2010年度のパフォーマンス項目の達成状況は下記のとおりです。なお、当年度の数字は新基準の数字（10月から“ちよこっとエコ商品や無洗米など”が対象から外れました）です。

【環境配慮商品の普及】

	当年度	前年度	前年度比	増減
点数（点）	748,027	716,178	104.4%	↑
金額（千円）	336,173	325,705	103.2%	↑

対象商品：①日生協「環境配慮商品」（環境に配慮した食品含む）、②日生協「ちよこっとエコ商品」、③エコマーク商品、④グリーンマーク商品、⑤再生紙Rマーク商品、⑥PETボトルリサイクル推進協議会マーク、⑦飲料品紙容器マーク商品、⑧JAS有機農産物表示と特別栽培農産物に関わる表示ガイドラインに基づき生産された農産物、⑨上記以外の環境配慮商品（コープネット環境配慮商品、無洗米などでコープネットで認定したもの）

組合員さん参加のリサイクル活動、及び事業から排出する 廃棄物の発生抑制とリサイクル活動を推進します。

従来から取り組んでいる組合員さんに協力いただいているリサイクル品については、適宜回収ルールを含めた情報提供を行い、継続してリサイクル活動に取り組みました。なお、2010年4月21日より稼動するコープネットエコセンターを活用し、店舗で回収した「魚箱」「食品トレイ」「ペットボトル」「牛乳パック」「たまごパック」「ダンボール」「古紙」を1ヶ所に集約し、合理的なリサイクル事業を進める準備をすすめ、今後デリ宅配での活用も検討しています。

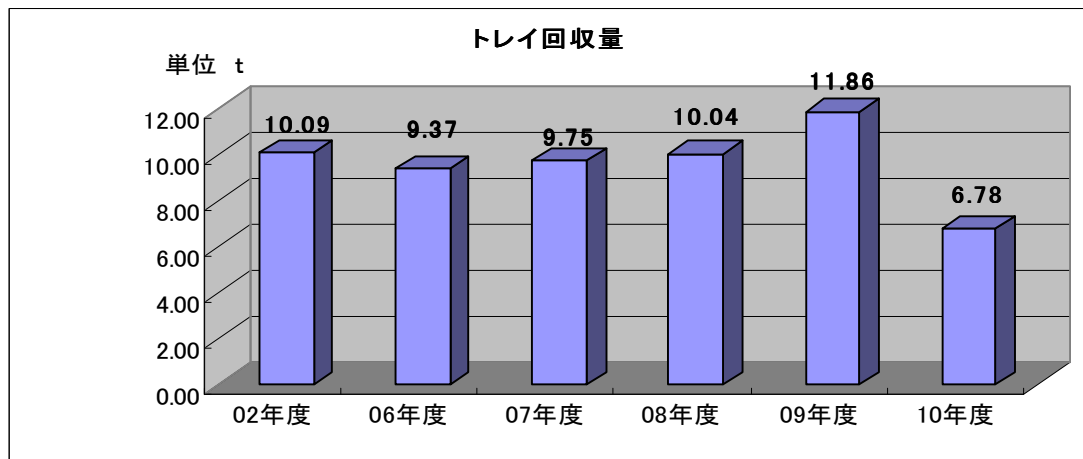
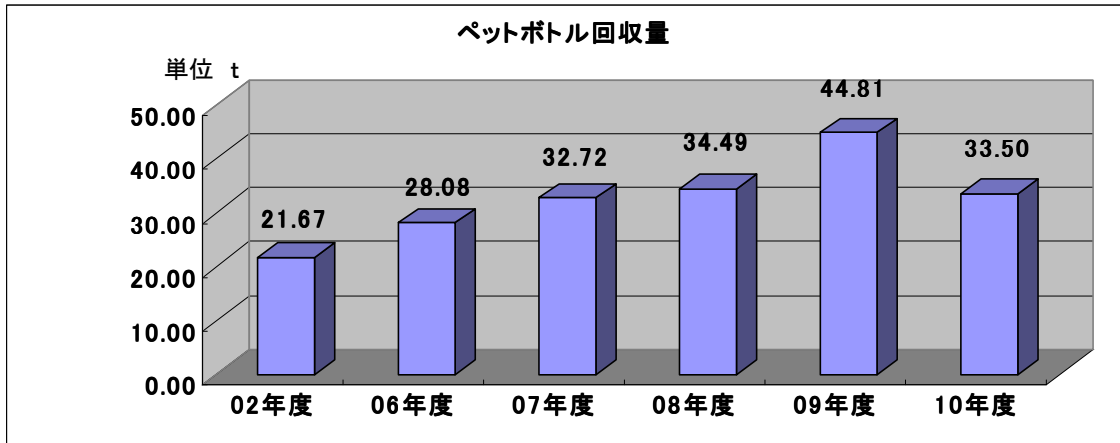
【組合員さん参加のリサイクル】

項目	当年度 (kg)	前年度 (kg)	前年度比	評価
ペットボトル	33,503	34,334	97.6%	↓
トレイ	6,776	7,489	90.5%	↓
資源紙	1,197,659	1,104,983	108.4%	↑
紙パック	59,585	63,216	94.3%	↓
アルミ缶	4,376	4,590	95.3%	↓
卵パック	8,164	5,733	142.4%	↑
内袋	20,733	15,045	137.8%	↑

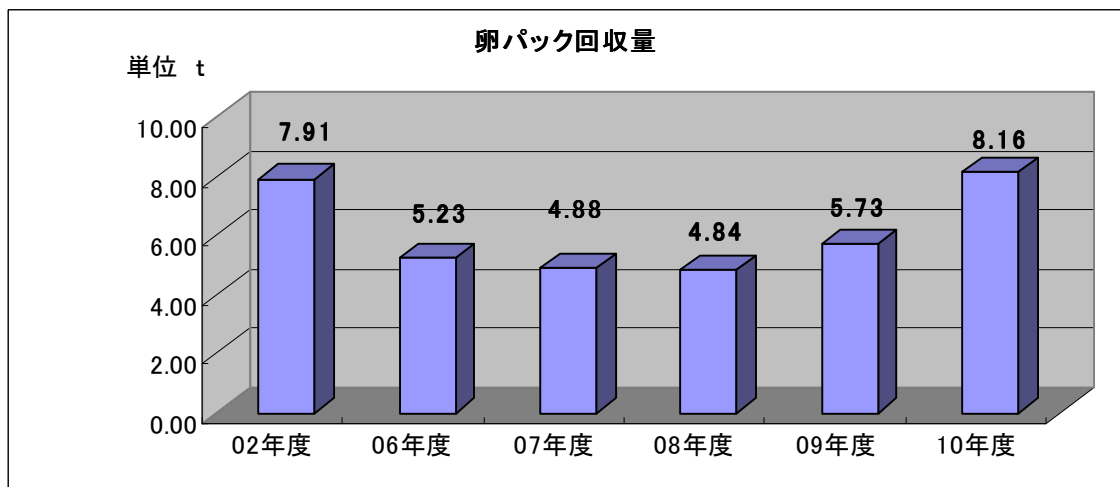
ペットボトル、及び、発泡スチロール製の食品トレイの回収は、2008年度から、全店舗、及び、デリ宅配（グループ配送、個別配送）で実施しています。

回収したペットボトルは、再生プラスチックの材料として、水切り袋など、いろいろなリサイクル製品に利用されています。食品トレイも再生プラスチックの材料として、いろいろな製品に利用されています。

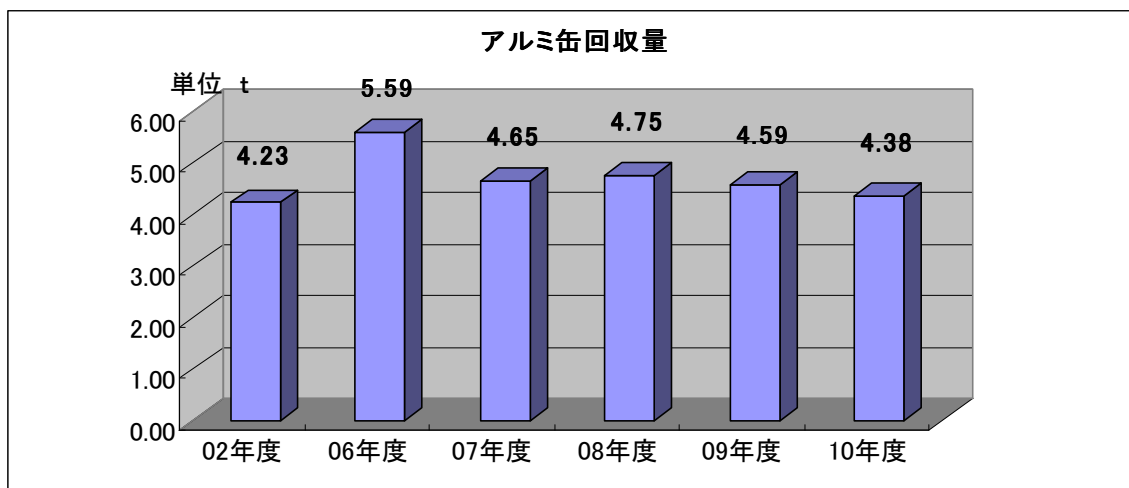




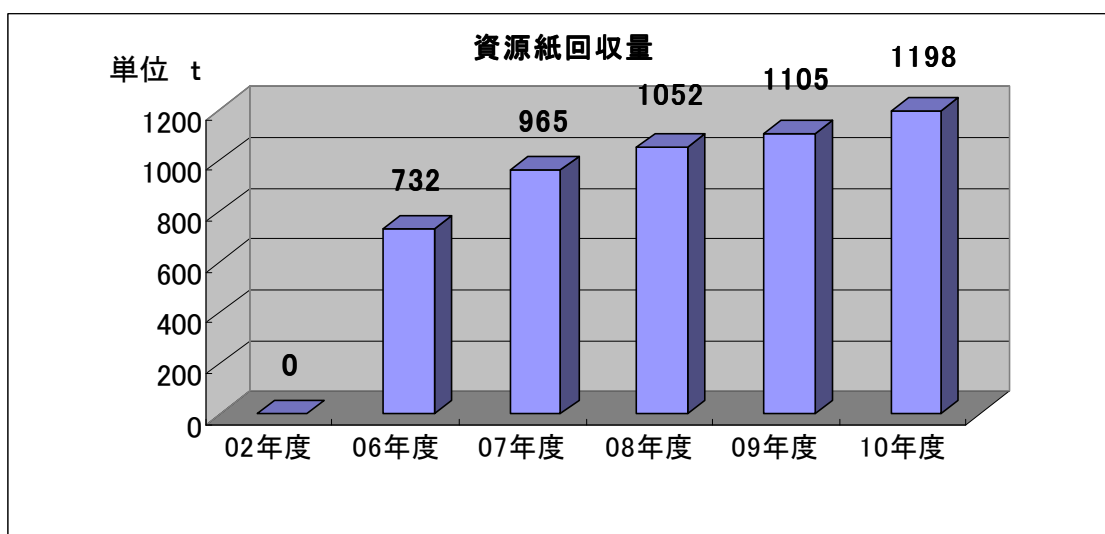
たまごパック（ペット樹脂製）は、ミニコープ全店舗、及び、デリ宅配で回収を実施しています。回収されたたまごパックは、主に再度たまごパックの材料として利用されています。



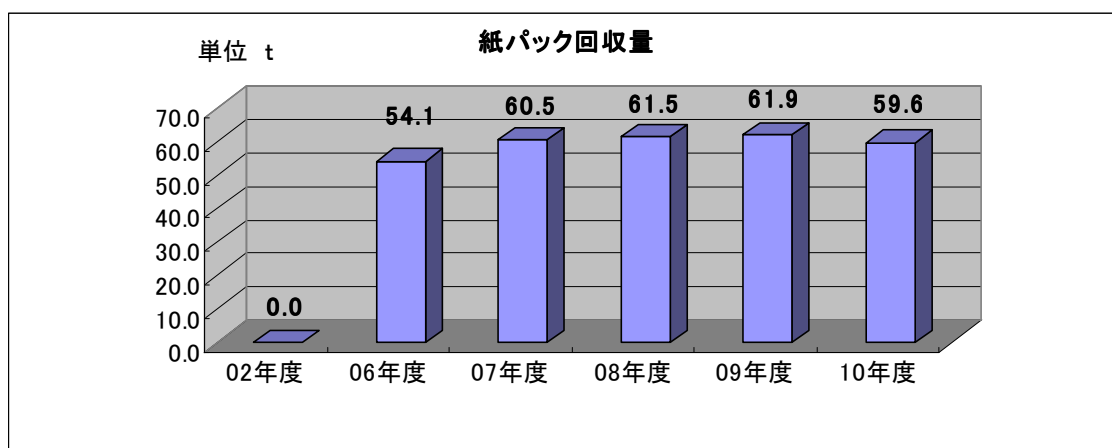
アルミ缶は、スーパーマーケット全4店舗で回収し、県内2ヶ所の共同作業所に引き取っていただいています。共同作業所では、再度分別を徹底して、アルミの再生原料として企業に買い取ってもらい、活動資金の一部として役立てています。



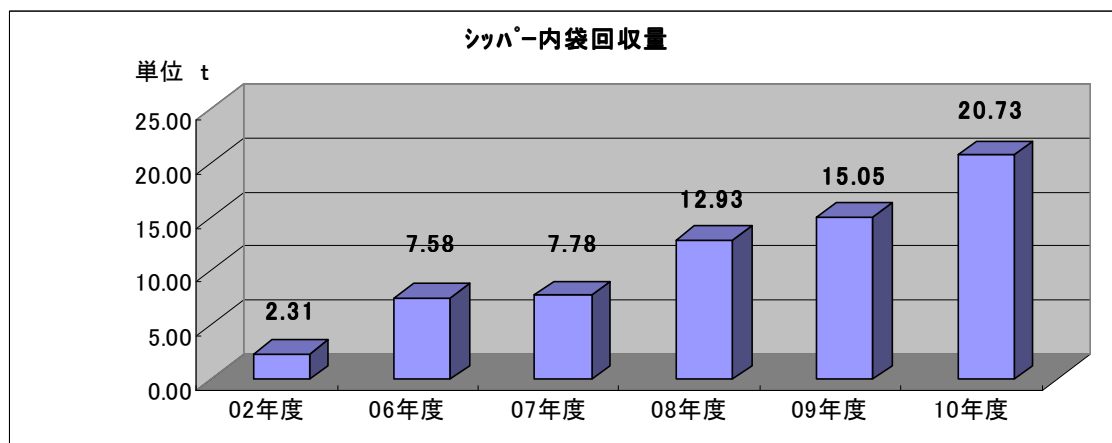
資源紙の回収の対象は、とちぎコープで配付する商品のカタログ類です。個人情報を含む紙類については、個人情報の漏えい防止に十分に配慮してリサイクルを行なっています。



紙パックは、牛乳やコーヒー・紅茶、ジュース類などの飲料（酒類の紙容器でアルミ使用可）の紙製のパックを対象に、とちぎコープの全店舗、及び、共同購入で回収・リサイクルを実施しています。ABパックについても、2009年度途中から開始しました。未晒し（茶色い紙）のパックについては回収していません。



シッパー内袋（共同購入で使用されている、発泡スチロール製の通い箱の中で商品を入れるために使用しているポリエチレン製の袋）は、商品の配送時に回収しています。再生プラスチックの材料として、いろいろな製品に利用されています。

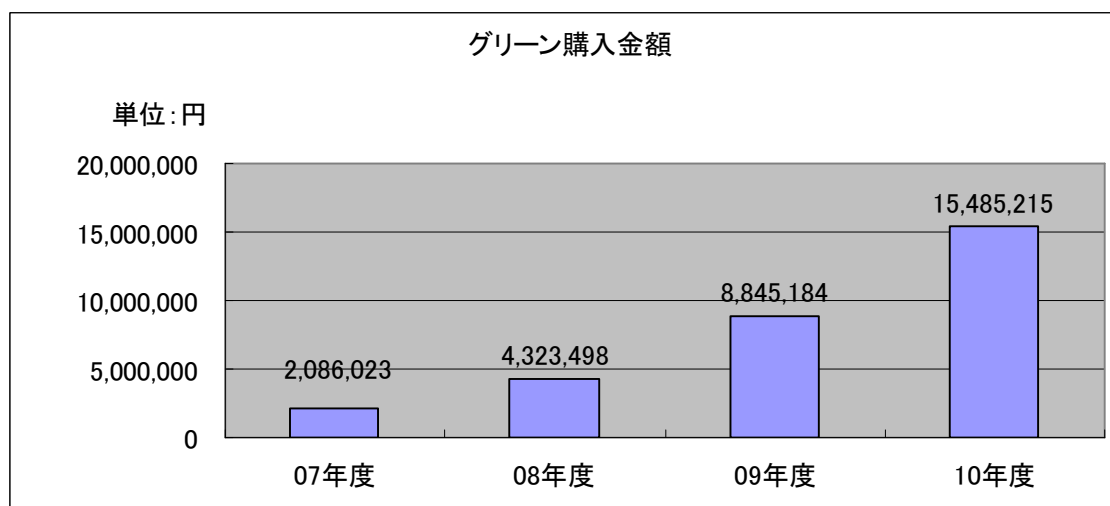


資源や資材の無駄な使用をなくし、

使用する資材は積極的にグリーン購入をすすめます。

【グリーン購入】

	2009年度	2010年度	前年比	評価
購入金額	8,845,184	15,485,215	175.1%	↑



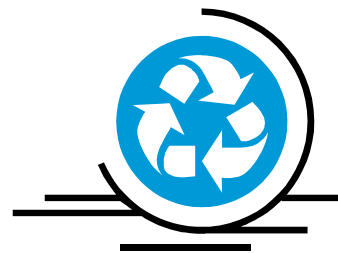
事務用品や文具、事務所等での消耗品を対象としたグリーン購入比率が90%を超える状況となったので、この状態を維持できるよう確実に運用管理するとともに、2008年度からバイオディーゼル燃料を購入しましたので、2007年度に引き続き2008年度比で、グリーン商品の購入高が倍増しました。

従事者の教育・訓練に関すること

とちぎコープEMSガイドブック2010年版も5月に完成し、力量評価と連動した定期教育が開始され7月度で終了をしました。

また、職員の環境教育をすすめ、2008年から3年間でエコ検定合格50名をめざし、エコ検定試験に向けた受験者向けの支援が進み、延べ43名が合格しました。

e c o検定	計画 (人)	実績 (人)
2009年度	20	19
2010年度	19	13

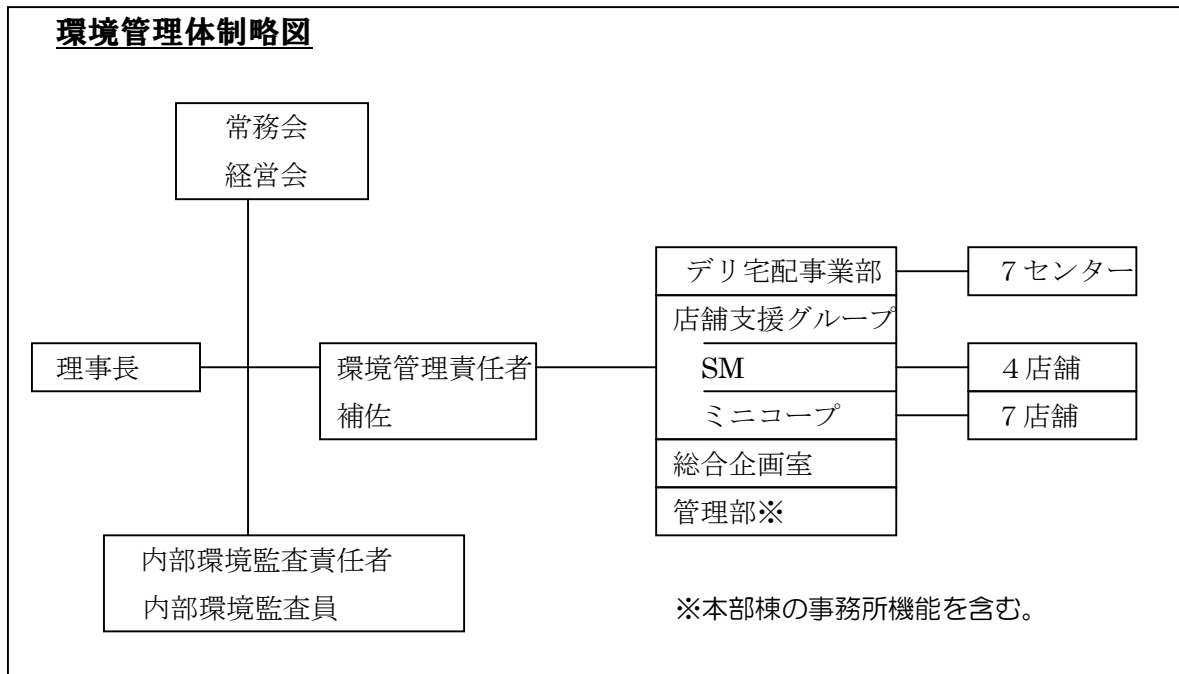


環境マネジメントシステムに関すること

環境マネジメントシステムを本来業務のシステムの一環として推進しています。環境マネジメントの運営に関わる論議は、常務会、経営会、及び各部門の機関会議の中で行っています。

【 環境管理体制 】

環境マネジメントシステムも事業経営の一部であるとの考えから、環境マネジメントの体制を業務のマネジメントの体制と一致させています。



【 コミュニケーション 】

組合員のみなさんのご意見・ご要望は、「組合員の声」担当部局が中心に管理しています。業務に関連するものはそれぞれの担当部局、環境が中心のものについては環境マネジメント事務局が対応し、回答が必要なものについてはすべて回答しています。回答については、「組合員の声」全体のデータベースの中で管理しています。

2010年度は、行政等への報告や、住民へのお知らせが必要となる重大な事故はありませんでしたが、西那須野センターおよび宇都宮市内の店舗について深夜納品時の騒音の苦情がありました。苦情については、納品業者とも調整して改善し、関係者のご理解を得ました。

【 内部環境監査・ISO14001更新審査 】

内部環境監査

内部環境監査は、9月20日～10月25日の日程で実施しました。重大な不適合0件、軽微な不適合8件、観察26件、推奨6件、プラス推奨11件の合計51件(前回70件)の所見が出されました。昨年度の監査結果を踏まえシステムの改善が図られましたが、その中で各要素のつながりが途切れた部分がありましたが、遅滞なく是正を実施しました。

今年度の内部監査より北関東三生協EMSの「内部環境監査規程」「内部環境監査計画書」に沿って同じ重点課題での監査となりました。とちぎコープの初回会議を「統一の初回会議」と位置づけました。

ISO14001維持審査

2003年3月に、ISO14001の認証を取得しています。2010年度は、2011年3月1日～3日に、ムーディ・インターナショナル・サーティフィケーション(株)の審査を受け、不適合0件、観察1件、改善の機会3件、良い点2件の指摘があり、2011年3月8日に、2012年3月19日までの認証期間の維持が認められました。

2009年度より、北関東三生協統一マネジメントシステムの構築のための協議を進め、2010年度下期より運用開始し、今年度は、いばらきコープ・とちぎコープ・コープぐんま三生協のISO14001環境マネジメントシステムの維持審査を行いました



【とちぎコープの概要】

(2011年3月現在)

理事長	片桐 雅義
組合員数	212, 881 人
出資金	64 億 3324 万円
事業高	237 億 5643 万円
職員数	正規 235 人、 定時 730 人(正規換算数 353 人)

事業所

○配送センター 7ヶ所

西那須野センター(那須塩原市)

高根沢センター(高根沢町)

今市センター(日光市)

宇都宮センター(宇都宮市)

壬生センター(壬生町)

小山センター(小山市)

足利センター(足利市)

○ミニコープ 7店舗

コープ矢板(矢板市)

コープ晃望台(鹿沼市)

コープ金井台(宇都宮市)

コープ城東(小山市)

コープ野木(野木町)

コープ富岡(佐野町)

コープ利保(足利市)

※売場面積50坪タイプの小型店

○スーパーマーケット(SM店) 4店舗

コープ越戸(宇都宮市)

コープ鶴田(宇都宮市)

コープおもちゃのまち(壬生町)

コープ栃木(栃木市)

※生協直営の売場面積450坪タイプのスーパーマーケット。

○とちぎコープ本部(宇都宮市)

発行日 2011年10月1日

とちぎコープ生活協同組合

専務理事 福田 雅彦

〒321-0195 栃木県宇都宮市川田町 858

T e l (028) 634-5115 F a x (028) 634-5114